

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 164-8701

住 所 東京都中野区中野4丁目3番2号

氏 名 株式会社丸井

代表取締役社長 青野 真博 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社丸井		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2		
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業の内容	小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,107 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ～ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 5,079 (調) 1,329	(実) 4,529 (調) 1,141	(実) 4,531 (調) 1,091	(実) 1,206 (調) 1,206	(実) 4,927 (調) 1,289
削減率		(実) 10.8% (調) 14.1%	(実) 10.8% (調) 17.9%	(実) 76.3% (調) 9.3%	(実) 3.0% (調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位等の活動量		原単位等の単位			目標とした値
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	①省エネの取り組み:-4.2% 空調機、給排気ファンなどの間欠運転や熱源機器の運転時間削減等 ②小売電気事業者変更による基礎排出係数削減:-15.5% ①②より、CO2削減率:10.8%	
第2年度	年間電気使用量:-1.4% 年間ガス使用量:-4.4% 以上より基準年度比CO2削減率:10.8% 前年度比CO2削減率:3.8%(調整後排出係数)	
第3年度	*基準年度比で、年間電気使用量:-1.2%、年間ガス使用量:10.5%、CO2削減率:76.3% *前年度比で、CO2削減率:-8.6%(調整後排出係数)	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		再生可能エネルギー電力の電気事業者(ミツウロコ)の基礎排出係数が「0」になったため、24年度は基礎が大幅に減少
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		3年間目標(削減率3%目標→基礎82%・調整81%)達成。引継ぎ再生可能エネルギーを使用し排出量削減に取り組む

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

丸井グループの温室効果ガス削減目標は、2030年までにCO2排出量を100万トン以上削減することを掲げており、2050年までにGHG排出量を7万トンに見込み、追加施策と除去によってSBTネットゼロ達成を目指す
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス総量削減を目指すにあたり、エネルギー使用量を前年比で1%以上削減することを前提として目標として設定 継続的な削減を推進する。 再エネ電力を継続的調達し、温室効果ガス削減を推進させる。
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス総量削減を目指すにあたり、エネルギー使用量を前年比で1%以上削減することを前提として目標として設定 継続的な削減を推進する。 再エネ電力を継続的調達し、温室効果ガス削減を推進させる。 (追加措置) 空調機、給排気ファンなどの間欠運転や熱源機器の運転時間削減をはかる。
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス総量削減を目指すにあたり、エネルギー使用量を前年比で1%以上削減することを前提として目標として設定 継続的な削減を推進する。 再エネ電力を継続的調達し、温室効果ガス削減を推進させる。 (追加措置) 昨年度に引き続き空調機、給排気ファンなどの間欠運転や熱源機器の運転時間削減をはかる 温室効果ガスの排出係数がより少ない会社、メニューへの切り替えを行った。
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス総量削減を目指すにあたり、エネルギー使用量を前年比で1%以上削減することを目標として設定していたが前年比100.9%とプラスとなってしまった。 再エネ電力を継続的調達し、温室効果ガス削減を推進させる。(継続措置) 昨年度に引き続き空調機、給排気ファンなどの間欠運転や熱源機器の運転時間削減をはかる 温室効果ガスの排出係数がより少ない会社、メニューへの切り替えを行った。
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>再生可能エネルギーを使用することにより、大幅に排出量削減に取り組むことができた</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況
 (追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光		
風力		
バイオマス		
未利用エネルギー		
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備		エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	
電気自動車等から建物等への給電設備		その他 ()	
EV、PHV、FCV		その他 ()	

4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	特になし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	環境配慮型商品・サービスメニューの提供、廃棄物リサイクル率の向上等
第1年度	環境配慮型商品・サービスメニューの提供、廃棄物リサイクル率の向上等
第2年度	環境配慮型商品・サービスメニューの提供、廃棄物リサイクル率の向上等
第3年度	環境配慮型商品・サービスメニューの提供、廃棄物リサイクル率の向上等

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,079 t-CO ₂	4,529 t-CO ₂	4,531 t-CO ₂	1,206 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	3,274 KL	3,138 KL	3,078 KL	3,107 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
マルイファミリー 溝口	川崎市高津区 溝口1-4-1 ク ティ2	5,079	4,529	4,531	1,206

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度